

## 人権教育研究発表会、成果を広げましょう！ 11月17日(金)



【1年・常幼年長 生活「つくろう あそぼう」】



【町4年合同 道徳「風船と花のたね」愛校心】



【教育長職務代理者あいさつ 増田英子様】



【講演会 佐藤 修氏】



【御礼の言葉 高島校長】

11月17日(金)、本校と常葉中学校を会場として、福島県教育委員会委託 平成29年度常葉中学校区人権教育開発事業、常葉地区人権教育研究発表会が開催されました。田村市はもとより県内市町村・田村地区の教職員の他、午前中に文化の館で行われた福島県人権教育推進協議会に参加された福島県教育庁関係の先生方、田村市人権擁護委員、同窓会、学校評議員、各校保護者の皆様と合わせて約80名にご参会いただきました。5校時、第1・4学年の授業が公開され、参観者から「一人一人の個性をふまえて人権に配慮している点に好感がもてた。」「学校種の垣根なくとも仲が良い感じがうかがわれた。普段から交流があることの積み重ねが感じられた。」「3校合同での道徳、このような形態を初めて参観し、ためになった。」等、連携型小中一貫教育を目指して常葉地区1幼稚園3小学校1中学校が協働して研究実践を推進してきた成果を、交流学习する幼児・児童・生徒の姿を見ていただくことができました。

授業後は常葉中学校において全体会を行いました。「主催者あいさつ」「研究報告」、次に前西郷村立熊倉小学校長 佐藤 修先生より「人権教育と私の実践」～アニメ「かっぱのすりばち」の活用を通して～というテーマでご講演いただきました。人権教育開発事業を24・25年度に西郷村が委託された時、佐藤校長先生が中心となって村の各組織を結集して人権教育に取り組んだ経過や採話した「かっぱのすりばち」(塙町の民話)が評判を呼びアニメが製作されたこと、その活用による道徳授業の充実など、大変貴重なお話をうかがうことができました。

県指導主事 藤原先生の助言「よい授業は人権教育に配慮した授業」であること、さらには次期学習指導要領の重点「社会に開かれた教育課程」の考え方を基盤として、この2年間の成果と課題を今後の教育活動や幼・小・中連携事業に反映させ「人づくり」を推進していくことが、今後の責務と考えております。これまで教育活動等にお力添えいただいた関係機関、保護者、地域の皆様、お陰様で実りある研究発表会となりました。誠にありがとうございました。

# 迫力あふれる演奏！ 津軽三味線公演会



【渾身、三味線の演奏 佐藤通弘氏】



【演奏に合わせて、全員で「ハネト」】



【御礼の言葉 6年 白石さん】

11月22日（水）津軽三味線公演会を体育館で開催しました。文化庁主催、県文化振興財団事業、講師は佐藤通弘さん（千葉県成田市在住）です。校長先生の講師紹介のあと、全員の大きな拍手でお迎えしました。「津軽さんさがり」や盆踊の曲「十三（とさ）の砂山」「津軽甚句」と名曲を次々演奏してくださいました。三味線の歴史などの話も勉強になりました。三味線の音色はとても迫力があり身体に響きました。途中、「日本一」の掛け声や手拍子なども教えてください、ねぶた囃子に合わせて「ハネト（跳人）」を全員でジャンプを繰り返した時には、大盛り上がりでした。途中、佐藤先生の御尊父は関本出身という話も出て、とても親近感を感じました。アン

コールのあと、児童を代表して6年 白石さんが御礼の言葉を述べ、全員で「ありがとうございました」とあいさつし終了しました。

## 田村地区小学校造形作品展

おめでとう！

### ■入選



1年	今泉	吉田	白石	平澤	小嶋
2年	本田	吉田	白岩		
3年	樽井	平澤	吉田	石井	渡邊
4年	本田	遠藤	吉田	坪井	松崎
5年	山田	鎌田	白岩	佐々木	樽井
6年	樽井	高橋	白岩	渡邊	坪井
	今泉	今泉	渡邊	木幡	吉田
		中島			

## 履き物をそろえるとき、何を考える？

教育哲学者 森信三氏（1896~1992）に師事した寺田一清さんは、あるとき師から「あなたは脱いだ履き物のそろえ方も知らんのか」という注意を受けたといいます。寺田さん自身はきちんとそろえているつもりだったそうですが、師の真意は「後から来る人のために、位置に気をつけて並べているかどうか」にあったということです。「思いやりの心」とは、「直接ふれあう人に向けて発揮すること」だけに意味があるわけではありません、日々、一つの思いにも一つの行いにも「思いやり心」をはたらかせて生活すること・・・そこには、周囲の人々との間に円滑な人間関係を築くとともに、自分自身の心を成長させ、人生を明るい方向へと導いていく、無限の力がひそんでいます。

（「ニューモラル 心を育てる言葉 366日」より抜粋）

